

『浜松市障がい者自立支援協議会 浜北・天竜エリア連絡会』
令和2年度 第2回 全体会

日時：令和3年3月5日（金）14時～
会場：浜北区役所3階 大会議室

- 1 開会
あいさつ（浜北区社会福祉課 課長 伊藤弘和）

- 2 自己紹介

- 3 議事
 - (1) 浜松市障がい者自立支援協議会 … P. 3

 - (2) 浜北・天竜エリア連絡会
 - ・令和2年度 活動状況報告 … P. 4 ～
 - ・令和3年度 活動計画（案）と取組みについて … P. 6、P. 7、P.16

 - (3) 浜北・天竜障がい者相談支援センター
 - ・令和2年度 活動実績報告 … P.17 ～

- 4 その他

- 5 閉会

『浜松市障がい者自立支援協議会 浜北・天竜エリア連絡会』

令和2年度 第2回全体会参加者名簿

【 構成員 】

	カテゴリー	所属	役職	構成員	備考
1	計画相談（児）	相談支援事業所シグナル	所長	尾関 ゆかり	
2	計画相談（者）	相談支援事業所ぼるた	相談支援専門員	間木 彩月	
3	社協	浜松市社会福祉協議会天竜地区センター	C S W北部 地域リーダー	永井 紀子	
4	当事者（個人）	特定非営利活動法人 Harmony	理事長	池谷 直士	
5	当事者（団体）	浜北手をつなぐ育成会	会長	伊藤 基久	
6	当事者（団体）	浜松地区肢体不自由児親の会	副理事	村松 真奈美	
7	教育関係	静岡県立浜北特別支援学校	校長	前田 貴子	※代理参加 三上 英 副校長
8	教育関係	静岡県立天竜特別支援学校	校長	岩附 祥子	※代理参加 川瀬 正博 教頭
9	教育関係	浜松市立中瀬小学校	スクールソーシャル ワーカー	鈴木 洋貴	
10	医療関係	メンタルクリニック・ダダ	相談員	山田 知佳	
11	医療関係	独立行政法人国立病院機構天竜病院 療育指導室	主任児童指導員	成田 史緒	
12	事業所（こども）	児童発達支援センター「ひまわり」	施設長	内藤 由美	
13	事業所（入所）	支援センターわかぎ	施設長	古橋 誠	
14	事業所（入所）	天竜厚生会 施設サービス課	課長	大石 直弘	
15	事業所（通所・児）	放課後等デイサービス事業所 あざみ	管理者兼児童発達 支援管理責任者	竹内 こず江	
16	事業所（通所・者）	たちばな授産所	サービス管理 責任者	大倉 ゆかり	※代理参加(ZOOM) 所長 山下敏明
17	事業所（多機能）	浜北愛光園	園長	弓桁 智浩	
18	地域	浜松市浜北区民生委員児童委員協議会	常任理事	渥美 由美子	
19	地域	浜松市天竜区民生委員児童委員協議会	副会長	坂井 久司	

【 オブザーバー 】

1	基幹相談	浜松市基幹相談支援センター	所長	雨宮 寛
2	基幹相談	浜松市基幹相談支援センター	相談員	永田 貴裕
3	基幹相談	浜松市基幹相談支援センター	相談員	山下 由佳

【 事務局 】

	カテゴリー	所属	役職	構成員
1	事務局	社会福祉法人 天竜厚生会	地域福祉課長	諸田 嘉人
2	事務局	社会福祉法人 みどりの樹	統括管理責任者	海野 洋一郎
3	事務局	浜松市浜北・天竜障がい者相談支援センター	管理者兼相談員	今田 将晴
4	事務局	浜松市浜北・天竜障がい者相談支援センター	相談員	大柳豆 勇太
5	事務局	浜松市浜北・天竜障がい者相談支援センター	相談員	松林 実希
6	事務局	浜松市浜北・天竜障がい者相談支援センター	相談員	山本 昂哉
7	事務局	浜北区社会福祉課	課長	伊藤 弘和
8	事務局	浜北区社会福祉課	課長補佐	恒川 洋代
9	事務局	浜北区社会福祉課	障害者支援グループ長	島田 佐栄実
10	事務局	浜北区社会福祉課	障害者支援グループ	中谷 知由
11	事務局	天竜区社会福祉課	課長	芦澤 信之
12	事務局	天竜区社会福祉課	課長補佐	小栗 康治
13	事務局	天竜区社会福祉課	障害福祉グループ長	内山 敦子
14	事務局	天竜区社会福祉課	障害福祉グループ	福田 すみれ

浜松市障がい者自立支援協議会

目標：「支え合いによって、住み慣れた地域で希望を持って安心して暮らすことができるまち」

障害者施策推進協議会

報告・提言

障がい者自立支援協議会

<市全体会> (年2回開催)

構成員：学識経験者・計画相談・社協・専門部会会員・当事者・教育関係・医療関係・事業所(入所、通所)
 浜松市発達医療総合福祉センター・浜松市根洗学園
 出席者：区社会福祉課・教育委員会
 事務局：障害保健福祉課・基幹相談・委託相談

市主催の会議

- ①課題解決に向けた協議
- ②困難事例の共有
- ③市への施策、提案
- ④協議結果の報告

市全体会

企画会議

- ①あがってきた課題の整理
- ②困難事例等情報の整理
- ③社会資源の改善
- ④困難事例の協議
- ⑤各部会の情報共有・発信
- ⑥エリア活動報告

※企画会議の中に事務局会議を置く。

- ①企画会議の案件を煮詰める場

当事者部会

- ①障害者施策等についての意見交換
- ②専門部会やエリア活動状況の報告

専門部会

- ①課題解決のための調査・研究
- ②提言書作成

障がい児、障がい者を通じて
 ※課題を元に、テーマ設定

※テーマは企画会議で決定
 ※メンバーは事務局会議で選出、
 企画会議で決定

- ※スケジュールを組み、進める。
- ※ワーキンググループ設置可
- ※エリアの部会と連携

<企画会議> (隔月開催)

構成員：委託相談(各エリア1人)
 各区社会福祉課

<事務局会議>

基幹相談・障害保健福祉課+α

<専門部会>

・専門職・委託相談・区社会福祉課
 相談支援部会
 権利擁護部会
 地域生活部会

依頼・報告

とりまとめ
 ・基幹相談
 ・障害保健福祉

エリア連絡会

※個別支援会議での事例の積み重ねから課題を抽出
 ※課題は「できること持ち寄り」により提案

<エリア全体会> (協議ができる人数)

構成員：計画相談・その他事業所等
 出席者：障害保健福祉課
 (オブザーバー：基幹相談)

<エリア事務局会議> (月1回)

・委託相談・区社会福祉課

<当事者と意見交換ができる場>

・家族・当事者・委託相談・区社会福祉課
 ※エリア部会やワーキングへの参加でも可

エリア全体会

- ①地域課題の抽出と解決に向けた協議
- ②地域ネットワークの構築
- ③社会資源の改善
- ④困難事例の共有

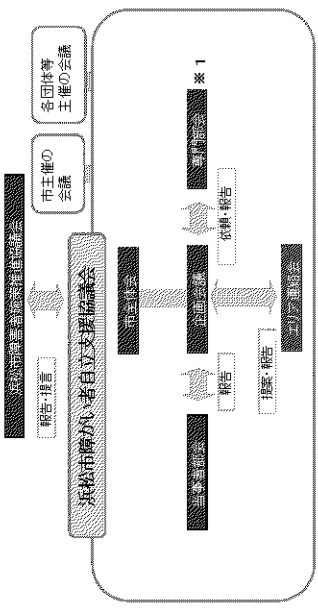
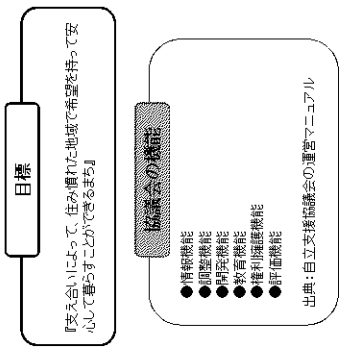
エリア事務局会議

- ①連絡会の運営に関すること
- ②エリアの課題に関すること

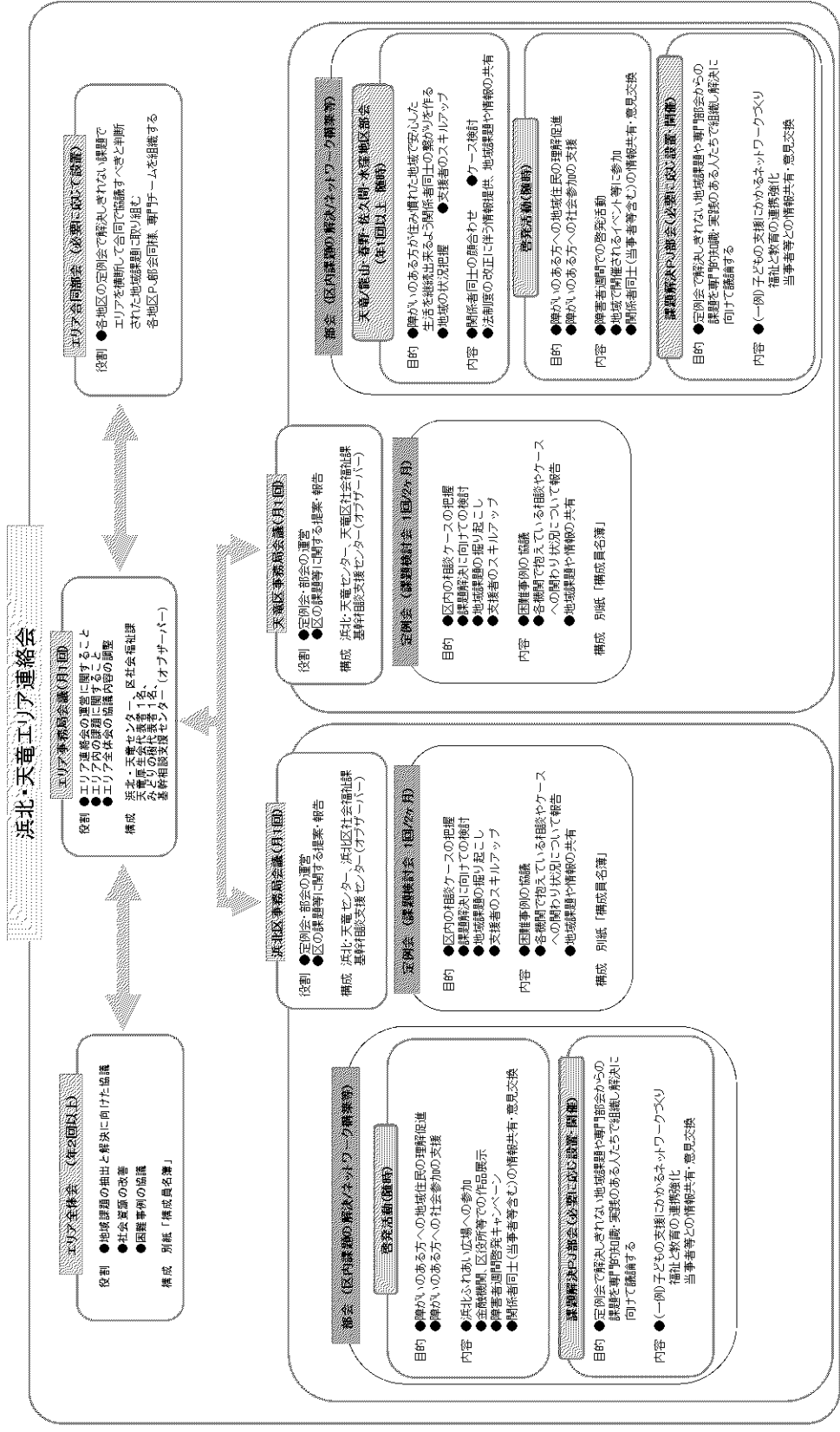
部会

- ※地域の実情に合わせて設置
- ※市専門部会との連動
- ※ネットワーク構築
- ※困難事例の協議

令和2年度 浜北・天童エリア連絡会組織図



※1 専門部会とエリアの部会等との連携は、エリア事務局会議が調整する
 エリア合同部会、課題解決P-Q部会（浜北・天童）



	浜北区						天童区					
	エリア全体会	エリア事務局会議	エリア合同部会	事務局会議	定例会	課題解決PA部会	事務局会議	定例会	課題解決PA部会	地区部会	発表活動	
4月		第1回 16日		第1回 16日			第1回 16日					
5月		第2回 21日		第2回 21日			第2回 21日					
6月		第3回 18日		第3回 18日			第3回 18日					
7月		第4回 16日		第4回 16日			第4回 16日					
8月	第1回 4日	第5回 20日		第5回 20日	第1回 24日		第5回 20日					
9月		第6回 17日		第6回 17日			第6回 17日	第1回 30日				
10月		第7回 15日		第7回 15日	第2回 26日		第7回 15日				第1回 13日	
11月		第8回 19日		第8回 19日			第8回 19日	第2回 30日			発表展示 11/20～11/30 各活動センター (津野、佐々木、水窪) 龍山保健センター 12/1、12/9 天童区役所 市民ホール 12/9 授産品販売会 (区役所職員のみ)	
12月		第9回 17日		第9回 17日	第3回 21日		第9回 17日					
1月		第10回 21日		第10回 21日			第10回 21日	第3回 25日				
2月		第11回 18日		第11回 18日	第4回 19日		第11回 18日					
3月	第2回 5日	第12回 18日		第12回 18日			第12回 18日	第4回 22日				
備考		第3木曜 午前	必要に応じて設置	第3木曜 午前	原則 第4月曜 13時30分から	必要に応じて設置・開催	第3木曜 午前	原則 第4月曜 13時30分から	必要に応じて設置・開催	各地区年1回以上の開催		
事務局担当	浜北・天童センター 社会福祉課 委託法 人責任者(同会)	浜北・天童センター (同会) 社会福祉 課 委託法人責任者	社会福祉課 浜北・天 童センター	鳥田 中谷 枝 今 田 松林(同会) 山 本	鳥田 中谷 今田 大 柳豆 松林 山本	必要に応じて設置・開催 ※都合に合わせて変更 有	内山 建部 大柳豆 (同会)	内山 建部 今田 大 柳豆 松林 山本	内山 建部 今田 大 柳豆 松林 山本	内山 建部 大柳豆 今田		

浜北・天竜エリア連絡会の取組について

No.	部会名	目的	取組	成果	課題	令和3年度(案)
1	定例会 (多職種ネットワーク会)	●区内の相談ケースの把握 ●課題解決に向けての検討 ●地域課題の掘り起こし ●支援者のスキルアップ	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年8月より偶数月に浜北区定例会、奇数月に天竜区定例会を開催。 構成員へ浜北・天竜エリア連絡会の機能説明。 これまで4つの事例検討を行い、個別支援の方策について様々な意見を頂いた。事例検討後の進捗については、相談ネットワークショップでのケース報告を通じて把握。 令和2年8月より偶数月に浜北区定例会、奇数月に天竜区定例会を開催。 構成員へ浜北・天竜エリア連絡会の機能説明。 区内の計画相談支援事業所等が集まり、『特に報告したいケース』をもとにケース報告をおこなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 今まで聞けなかった機関と一つの事例を検討することで、種の繋がりが生まれ、支援者として新たな気づきのきっかけとなった。 事例検討にて構成員からの助言をもとに支援に活かされた。 	<ul style="list-style-type: none"> 浜北区と天竜区エリアとして各で地域柄、地域課題も異なる。 新型コロナウイルスの影響により、想定していた開催の方法で開催ができなかった中、浜北区の多職種ネットワーク会でのZOOMを併用した事例検討は初めての取組で慣れない部分と、構成員の人数が多いことにより、協議のしづらさを感じた。また、地域課題の掘り起こしまでの協議は不十分となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度同様に、奇数月に天竜区定例会、偶数月に浜北区定例会を開催。 目的を達成するために浜北区の多職種ネットワーク会の協議がより円滑にできる工夫を試みる。
	定例会 (相談ネットワークショップ会)		<ul style="list-style-type: none"> 計画相談支援事業所より地域課題について水窪における社会資源の不足が挙がった。具体的には短期入所事業所だが、近くに事業所がなく調整に苦慮している現状がわかった。 → 地域の高齢者施設で障害シートの受け入れ(指定申請)について調整をしていく。具体的にはまず、天竜区社会福祉課、計画相談と居宅訪問、高齢者施設へのシートについて提案を予定。 ケース報告にて構成員からの助言をもとに支援に活かされた。 計画相談の状況の改善のため、市協議会専門部会計画相談WGへのエリア内計画相談の意見集約ができた。業務改善について計画相談同士の意見を参考にできた。 			

No.	部会名	令和2年度			令和3年度(案)
		目的	取組	成果	
2	エリア合同部会	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援学校在学中の肢体不自由児(医ケア含む)の卒業後の進路について現状と課題の把握、今後の卒業生を見込みながら特別支援学校や関係機関と全市的に必要な受け入れ体制、取り込み等を協議する場の構築について検討。 ●働がいのある方が住み慣れた地域で安心した生活を継続出来るよう関係者同士の繋がりを作る。 ●地域の状況把握 ●支援者のスキルアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・まずはエリア内(浜北区・天竜区)において現状を把握する中で、地域の問題について共有し、今後の卒業生を見込みながら特別支援学校や関係機関と全市的に必要な受け入れ体制、取り込み等を協議する場の構築について検討。 ・新型コロナウイルスの影響で開催には至れず、新型コロナウイルスに関する各関係機関の対応についてアンケートを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集まり、顔合わせができた。 ・令和3年度に向け、部会に必要なメンバー、必要な検討材料、協議したいことに応じた年間スケジュールを計画した。 	<p>エリア合同部会で検討された協議したいことに応じた年間スケジュールに沿いながら、引き続き新たなメンバーへ事務局より、お声をかけさせて頂く予定。</p>
3	地区部会	<ul style="list-style-type: none"> ●働がいのある方が住み慣れた地域で安心した生活を継続出来るよう関係者同士の繋がりを作る。 ●地域の状況把握 ●支援者のスキルアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ○障害福祉事業所の施設品や当事者の作品を展示。事業所の様子が見分かる掲示物(写真)も展示。 【浜北区】 <ul style="list-style-type: none"> ・浜北区役所、プレサークワーク浜北、浜北区内金融機関(静岡銀行、浜松いわた信用金庫、遠州信用金庫)にて展示を実施。 ・今年度は新型コロナウイルスの影響で、浜北ふれあい広場や街頭キャンペーンが中止とした。 【天竜区】 <ul style="list-style-type: none"> ・各協働センター(水窪・佐久間・暮野)、龍山保健センター、天竜区役所市民ホールにて展示を実施。 ・授産品販売会 ※授産品販売会については、新型コロナウイルスの影響により、天竜区職員、天竜区協働センター職員を対象に開催。 ○展示場所へ展示についてのアンケートを設置。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所間の機がりが深まった。準備段階より啓発活動に対する想いを出し合い、今回のような形となった。 ・アンケートの結果、啓発活動に対する市民の興味関心が高まった。 ・天竜区では障害者週間販売会では多くの作品を販売することができた。事業所の利益と併せてご利用者の作品が売れたことに対する達成感も生まれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現地参加とリモート(Zoom)開催を検討。 ・リモート(Zoom)での参加の可否について聞き取りをしていく。
4	啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ●働がいのある方への地域住民の理解促進 ●働がいのある方への社会参加の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 【浜北区】 <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートにすると回答する側のハードルが高くなってしまう。より気軽に回答できる方法や工夫が必要。 ・多くの人に見てもらえらるよう、展示期間を延長する等の工夫が必要。 【天竜区】 <ul style="list-style-type: none"> ・展示するものの内容やテーマが分かりづらかった。 【天竜区】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域柄、高齢の方の興味関心が高く、字の大きさや色など見やすさの工夫が必要。 ・障害者週間販売会を天竜区の職員のみではなく、地域住民への参加も開催できるようなものになると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 【浜北区】 <ul style="list-style-type: none"> ・啓発活動自体は今年度のものを基本とする。 ・展示については内容の協議をしていく。ふれあい広場については現状、来年度は開催する予定のことなので参加の方向で調整。街頭キャンペーンについては新型コロナウイルスの情勢を見つつ、協議をしていく。 【天竜区】 <ul style="list-style-type: none"> ・啓発活動自体は形を変えず、新型コロナウイルスの感染防止も意識しながら、配慮する点や工夫する点などを踏まえ中身については協議をしていく。 	

特別支援学校在学の肢体不自由児

卒業後の進路の課題検討エリア合同部会

1. テーマ

特別支援学校（西部特別支援学校と浜北特別支援学校）在学中の肢体不自由児（医療的ケア児含む）の卒業後の進路について、現状と課題の把握、今後の卒業生を見込みながら地域の受け入れ体制等を協議する場の構築。

2. 部会発足の背景や目的

特別支援学校在学の肢体不自由児（医療的ケア児含む）が今後も卒業する見込みではあるが、その受け入れ先が限定され、受け入れ先の枠も年々厳しなっている状況。

医療的ケア児を含め卒業後の進路として、生活介護事業所の不足から複数の事業所を併用することでなんとか進路を確保している状況でもあり。本来、利用したい事業所を利用できない状況にもなっている。

特別支援学校や事業所からも肢体不自由児の卒業後の進路について、卒業生を見込みながら学校や関係機関と検討する場を設けられないかとの声も挙がっている。

まずはエリア内（浜北区・天竜区）において現状を把握する中で、地域の課題について共有し、今後の卒業生を見込みながら特別支援学校や関係機関と全市的に必要な受け入れ体制、取り組み等を協議する場の構築について検討する。

3. メンバー

静岡県立浜北特別支援学校 伊藤昌明

静岡県立西部特別支援学校 梅原由子

NPO 法人 Harmony それあ〜ど 池谷直士

浜松市社会福祉事業団浜松市発達医療総合福祉センター福祉センター所長 堀内剛

浜松市社会福祉事業団障害者生活介護施設『ふれんず』 川合由美

浜松市社会福祉協議会浜北障害者生活介護施設光の園 宮本重利

天竜厚生会障害者支援施設浜名 宮司貴光 平生幸子 大畑千亜紀

天竜厚生会特定相談支援事業所きずな 町田敬太

浜松市障がい者相談支援事業所シグナル 尾関ゆかり

浜松市障がい者基幹相談支援センター 山下由佳 永田貴裕

浜松市浜北・天竜障がい者相談支援センター 今田将晴 大柳豆勇太

浜松市天竜区社会福祉課

浜松市浜北区社会福祉課

敬称略

4. 活動予定

令和2年11月～12月

○目的、活動予定の共有

令和3年1月～2月

○今後の卒業生を見込みながら全市的な地域の受け入れ体制等の協議の場に
必要な検討材料、必要なメンバー、協議の場の設置場所の検討。

令和3年3月

○まとめ

○来年度について

令和2年度 浜北区啓発部会 活動報告

<p>開催目的・内容</p>	<p>【目的】障がいの理解・啓発は、社会福祉関係者だけでなく、地域の一般住民に向けて継続して行うことが必要であり、地域で「出会い、つながり、楽しみ、いきいきと暮らす」ことを目的とした、「浜北区ならではの障がい理解・啓発活動」を展開できるようにする。</p> <p>【内容】○区内の金融機関・プレ葉ウォーク浜北・浜北区役所にて障がい者の作品等を展示</p>
<p>委員会メンバー</p>	<p>酒井（小羊学園）中村（浜松市社会福祉協議会）星野（聖隷福祉事業団） 鈴木（民生委員児童委員協議会）稲垣（天竜厚生会）小木（みどりの樹） 南原（たちばな会）藤井（浜北手をつなぐ育成会）河島（浜松市社会福祉事業団） 多米（障がい児放課後支援連絡協議会） 事務局：島田 権（浜北区社会福祉課） 松林 山本（浜北・天竜センター）</p> <p style="text-align: right;">【順不同・敬称略】</p>
<p>委員会開催</p>	<p>令和2年9月25日（金）①13:00～ ②14:00～ 浜北区役所3階 第二会議室 AB 令和3年1月13日（水）11:00～12:00 浜北区役所3階 第一会議室</p>
<p>活動内容</p>	<p>11月～12月にかけて、以下の場所・期間でご利用者の作品や事業所の様子が分かるものの展示を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜松いわた信用金庫 美茵支店 11/13（金）～ 11/20（金） ・なゆた浜北1階 11/20（金）～ 11/27（金） ・プレ葉ウォーク浜北 12/2（水）～ 12/4（金） ・静岡銀行 浜北支店 12/4（金）～ 12/11（金） ・遠州信用金庫 浜北支店 12/11（金）～ 12/18（金） <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【プレ葉ウォーク浜北】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【プレ葉ウォーク浜北】</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>【プレ葉ウォーク浜北】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【なゆた1F（浜北区役所）】</p> </div> </div>



【なゆた 1F (浜北区役所)】



【なゆた 1F (浜北区役所)】



【浜松いわた信用金庫】



【静岡銀行】



【遠州信用金庫】

◇反省点・意見

- ・啓発活動をもっと周知できるような工夫があると、見に来てもらえる方が増えるのではないかと（次回活動場所や期間の告知など）。
- ・啓発活動を通じて何を伝えたいかといったテーマや趣旨が明確化できるといい。
- ・プレ葉ウォークや浜北区役所といった人が多く来る場所での展示期間がもう少し長くとれるといい
- ・展示物や作品を破損から守るための対策や検討は必要。
- ・今年度から展示を見てくれた方へのアンケートを実施。
ある程度回収することはでき、地域の方の声を聞いたのはよかった。
ただ、アンケートにすることで回答することへのハードルが高くなってしまったため、もう少し気軽に回答できる方法の検討は必要。
- ・金融機関の中には啓発活動を好意的に捉えてくれているところもあるので継続できるといい。同じ金融機関でも別の支店への依頼や協働センターにも確認してみるなど、いろいろなところで活動ができるといい。
- ・展示場所にパンフレットを置いたことで、事業所の活動内容が見てくれた方にも伝わったのではないかと思う。

令和2年度 天竜区啓発活動報告

①令和2年度の啓発活動打ち合わせ会開催

令和2年10月13日（火） 10時30分～ 天竜区役所23会議室

参加事業所			
作業所せきれい	大角 加津良	わかすぎ工房	清水 正子
あけぼの作業所	水井 喜代志	天竜厚生会 美浜	松崎 英嗣
天竜厚生会 みのり	赤堀 有里		

作品提供団体			
作業所せきれい	あけぼの作業所	わかすぎ工房	天竜厚生会 美浜
天竜厚生会 みのり	肢体不自由児親の会	浜北特別支援学校	

②障害者週間啓発展示

● 11月2日～30日（春野協働センター・佐久間協働センター・水窪協働センター・龍山保健センター）

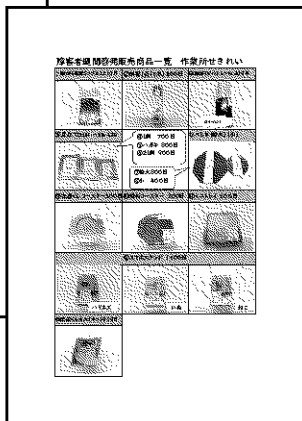
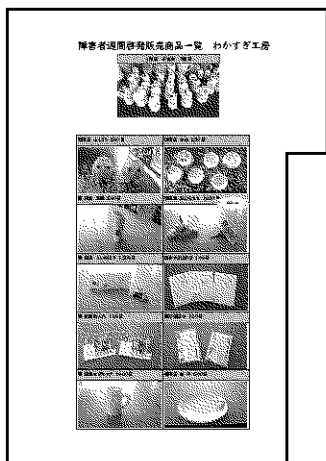


● 12月1日～9日（天童区役所） ☆今年度は浜北特別支援学校の生徒さんの作品も展示しました☆



③天童区障害事業所の製品販売

コロナ対策で対面販売をやめ、天童区職員を対象とした事前注文販売を実施しました。

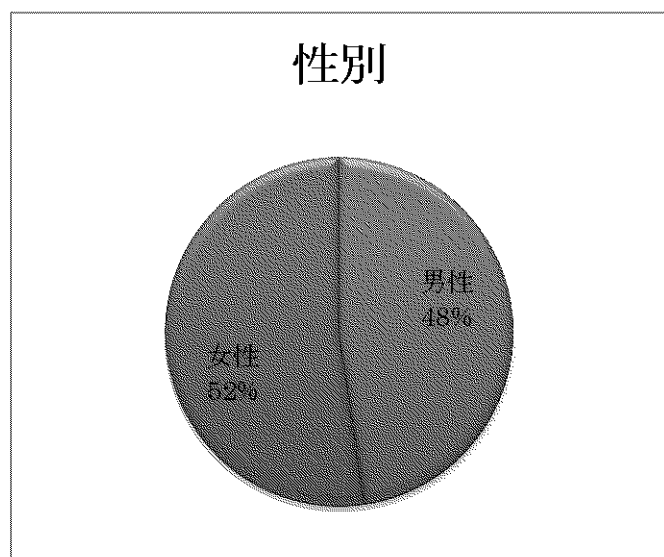
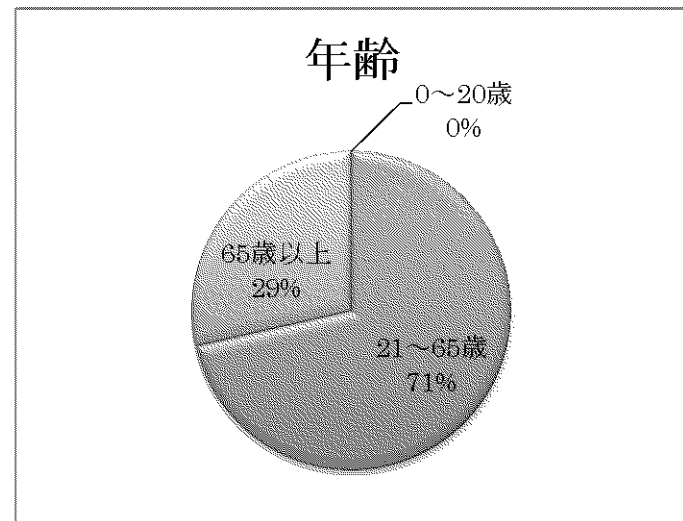
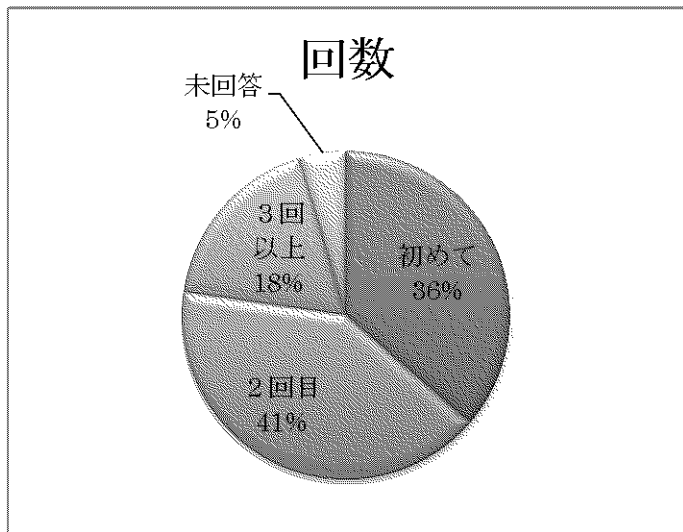


事業所アンケートご意見 ※一部抜粋

- ・コロナ対策で事前注文の対応したことにより多くの職員に事業所について知ってもらえた！！
- ・やはり、作品をみて購入したり、作品への思いを伝えられるため来年度以降は感染対策をして対面販売ができるといい。

④市民アンケート

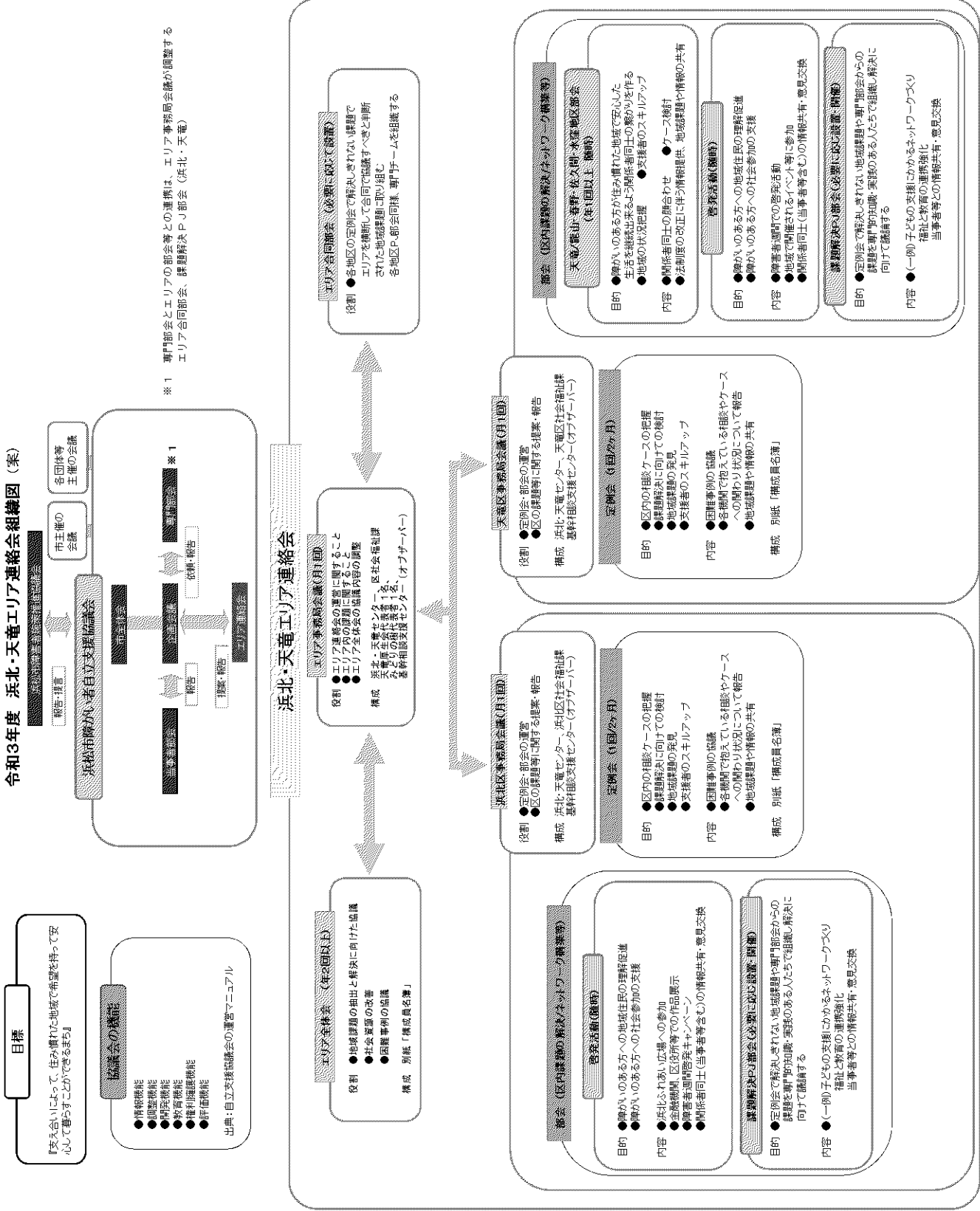
天竜区：3件 春野：2件 佐久間：6件 水窪：10件 龍山：1件 計22件



市民アンケートご意見 ※一部抜粋

- ・生徒さんの作品が増えていて良かったと思います。
- ・皆さん上手に素敵な作品ができていますね。展示していることをもっと市民に伝えていただきたい。
- 改善⇒新聞社への情報提供の再開、チラシ・ポスターなどの作成を検討。
- ・とても見やすい作りで素晴らしいと思いました。作品もかわいらしいものが多く買ってみたくと思いました。
- ・値段が書かれているものを展示されており、この商品はここで買えるのか施設に問い合わせればいいのか案内があるといいと思った。
- 改善⇒次回から展示の中に購入の案内をいれるなど工夫する。
- ・掲示物の文字が小さい。黄色が見つらなかった。
- 改善⇒掲示物の文字は大きく、色は統一する。
- ・活動の成果がみえる形で展示されているのがいいと思いました。
- ・皆さんのご努力感心いたしました。
- ・昨年と違い事業所の写真などがあり様子がよく分かりよかった。

令和3年度 浜北・天童エリア連絡会組織図(案)



浜松市浜北支庁障がい者相談支援センター

(1) 支援方法

支援方法	件数 単位(件)											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計	
訪問	45	59	70	63	63	69	75	68	80	53	645	
来所	10	26	24	23	28	36	41	32	12	35	267	
同行	17	13	31	27	27	26	26	31	21	25	244	
電話	97	62	117	130	134	127	105	134	145	156	1,207	
電子メール	4	5	16	18	16	22	18	15	12	34	160	
個別ケア会議	4	10	3	6	6	2	8	4	5	5	53	
関係機関	109	125	215	243	236	228	274	216	233	228	2,107	
その他	0	0	1	0	4	2	0	5	1	3	16	
合計	286	300	477	510	514	512	547	505	509	539	4,699	

(2) 支援内容

支援内容	件数 単位(件)											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計	
①福祉サービスの利用に関する支援	67	62	147	186	175	138	154	158	118	196	1,391	
②社会資源の活用に関する支援	18	20	27	22	26	16	22	13	12	29	205	
③障害や症状の理解に関する支援	0	6	4	2	1	1	2	2	1	1	20	
④健康・医療に関する支援	36	57	86	49	53	75	72	83	89	66	666	
⑤不安の解消、情緒安定に関する支援	38	40	41	45	39	50	53	51	42	54	453	
⑥保育・教育に関する支援	2	0	0	0	1	0	21	4	8	3	39	
⑦家族関係・人間関係に関する支援	14	14	8	21	26	25	32	32	45	43	260	
⑧会計、経済に関する支援	27	27	46	34	47	47	57	47	69	59	460	
⑨生活技術に関する支援	18	13	17	15	3	15	5	14	13	16	129	
⑩就労に関する支援	30	30	32	28	50	38	44	30	37	49	368	
⑪社会参加に関する支援	1	4	2	2	0	0	0	1	2	1	13	
⑫余暇活動に関する支援	1	0	0	0	0	0	0	4	0	0	5	
⑬権利擁護に関する支援	6	8	5	3	0	0	0	0	1	1	24	
⑭その他福祉に関する支援	28	29	62	103	93	107	85	66	72	21	666	
合計	286	300	477	510	514	512	547	505	509	539	4,699	

(3) 対象者実人数(内訳部分:重複はダブルカウント)

障害種別	実数 単位(人)											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計	
身体障害	9	0	8	0	11	8	0	17	0	13	13	
重症心身障害	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	
知的障害	24	5	23	31	26	35	32	34	39	46	9	
精神障害	36	0	39	0	57	57	58	64	59	74	1	
発達障害	4	1	3	2	4	5	5	6	7	7	1	
高次脳機能障害	3	0	2	0	3	3	3	2	2	0	4	
難病	1	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	
その他	3	0	3	0	13	13	14	13	12	11	1	
実人数	80	6	78	6	104	116	117	129	123	144	12	

令和2年度 新規件数内訳（年間）

○相談者別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
本人	2	2	5	2	2		3	5	1	4	26
同居者	3	3	3	7	4	4	3	3	3	7	40
親族		1	3		1	2	2	1		3	13
後見人等											0
事業所	4	1	3	3		2	1		1	2	17
相談支援事業所	3	4	6	3	4	4	4	6	2	5	41
高齢事業所		2	4	1			3	2	3	3	18
就労先											0
学校										1	1
医療機関		3	3	1		3	1	1		4	16
行政	1	2	5	3	1	3	6		2	4	27
民生委員等		3							2		5
その他				1		2				1	4
合計	13	21	32	21	12	20	23	18	14	34	208

全体会相談実績補足資料

① 多機関協働による包括的支援体制が求められている

□「地域共生社会の実現に向けて」国の示す方向性の中、来年度4月より重層的支援体制整備事業が施行される。

□個人や世帯がかかえる複合的な課題への支援の必要性。

・対象者実人数の各月一番多い精神障害者と、支援内容の2番目に多い項目である666件の健康・医療に関する相談の中身として、未治療や医療中断のある方の支援体制が整わず、入退院を繰り返し、本人から虐待を受けた高齢の家族が困ったと相談に来るケース。

・460件の家計・経済に関する相談の中身として、てんかんがありながら仕事をしたい40代の本人と、介護が必要な70代の母親との生活困窮世帯。

・39件の保育・教育に関する相談の中身として、娘の進路や家族関係、自身の就労に困る50代の本人と、高齢の親、発達に課題を抱えながら支援につなげられなかった10代の子供のいる世帯。

・1391件の福祉サービス利用相談の中身として、精神障害のある40代の本人の退院後の宿泊型自立訓練の利用相談に応じながら、同居者である金銭的な理由で受診が滞っている高齢の母と、26年間本人の介護をし続けてきたため仕事へつけず今更の就労に不安を抱える姉の世帯。

センターとして今年度からの新たな取組

□令和2年10月から隔月で浜北区相談機関勉強会を開始。浜北区での分野を超えた関係機関の連携を育むため、浜北区3包括、つながり浜北、浜北区行政（長寿保険課、社会福祉課）、CSWとセンターとで情報共有、事例検討を行ってきている。

□令和2年度から浜北区・天竜区それぞれの要保護児童対策地域協議会へ参加し始めた。家庭児童相談室や児童相談所等のこどもにかかる関係機関と要保護児童等にかかる支援の協議を行っている。

②センター化したことの効果として、

周りから相談する先が分かりやすくなったと考えられる。

□R1 年度のほくえんとシグナルを除く浜北区、天竜区の委託相談の月平均新規相談者数が7～8名に対し、R2.4月からセンター化した後の月平均新規相談者数は20～21名。

□民生委員からの R1 年度新規相談は浜北区、天竜区合わせて1件。R2.4月から R3.1月までで民生委員からの新規相談は5件。